

ホタテガイ採苗速報

成熟は順調に進んでいます

令和2年1月7日に湾内7地点で養殖2年貝の成熟度調査を行ったので、その結果をお知らせします。なお、東湾2地点の地まき貝の成熟度調査は欠測となっています。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均15.8、東湾平均20.2、全湾平均17.7とそれぞれの平年値(平成5~31年の同時期の平均値)13.3、17.1、14.9よりやや高くなっています(図1~2)。

異常貝率は、西湾平均24.2%、東湾平均33.3%とそれぞれの平年値7.0%、2.0%よりもかなり高い状況です。なお、サンカクフジツボの付着による異常貝率は、西湾平均で7.5%、東湾平均で27.7%で、特に野辺地町の耳吊り貝では8割と高い値を示しています。各地の測定結果は表1のとおりです。

2 海況

各ブイの1月1日~7日の週別平均水温は表2のとおりです。15m層の1月第1半旬平均水温は、平館ブイ、東湾ブイで平年並み、青森ブイでやや高めとなっています。

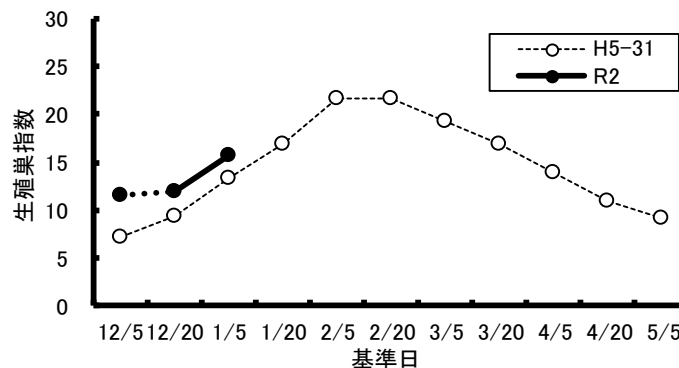


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

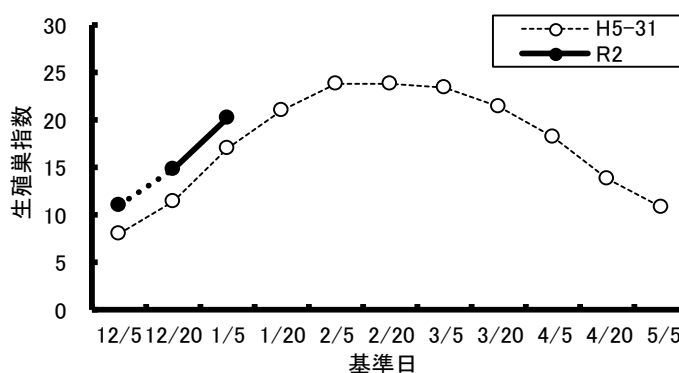


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

※12月5日は実験漁場のデータのためのため、破線とした

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 1月5日)

調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指数	生殖巣 重量(g)	生殖巣 指数	異常貝率 (%)	へい死 率(%)
蓬田村	10.1 (10.1)	104.5 (108.3)	38.8 (41.7)	37.0 (38.6)	4.4 (5.1)	11.2 (12.2) [11.7]	20.0 [0.0] (2.2)	2.4
青森市奥内	10.6 (10.0)	123.6 (112.4)	43.1 (38.7)	34.6 (34.3)	7.7 (5.4)	17.5 (13.4) [11.1]	13.3 [3.3] (6.2)	2.9
久栗坂実験漁場	11.8 (10.7)	197.0 (138.6)	88.6 (55.6)	45.0 (39.9)	18.8 (8.3)	21.4 (14.5) [14.5]	26.7 [16.7] (6.7)	0.0
平内町茂浦	9.7 (9.5)	104.7 (96.0)	42.9 (36.7)	40.9 (38.0)	5.6 (4.3)	13.0 (11.0) [10.4]	36.7 [10.0] (6.0)	-
西湾平均	10.6 (10.2)	132.4 (119.6)	53.4 (46.4)	39.4 (38.5)	9.1 (6.6)	15.8 (13.3) [11.9]	24.2 [7.5] (7.0)	1.8
野辺地町	9.8 (10.4)	119.5 (128.5)	54.2 (54.2)	45.3 (42.1)	10.9 (10.3)	19.9 (18.7) [12.2]	83.3 [80.0] (0.7)	30.5
むつ市	9.8 (9.2)	111.3 (90.5)	47.2 (39.1)	42.4 (43.1)	8.3 (6.5)	17.7 (16.3) [14.7]	13.3 [3.3] (3.7)	0.0
むつ市川内町	欠測							
川内実験漁場	10.6 (10.2)	132.8 (120.0)	64.8 (51.2)	48.8 (42.5)	15.0 (9.2)	23.1 (17.8) [17.6]	3.3 [0.0] (2.5)	1.7
東湾平均	10.1 (9.9)	121.2 (112.0)	55.4 (47.6)	45.5 (42.4)	11.4 (8.4)	20.2 (17.1) [14.8]	33.3 [27.7] (2.0)	10.7
全湾平均	10.3 (10.1)	127.6 (114.9)	54.2 (46.4)	42.0 (40.3)	10.1 (7.4)	17.7 (14.9) [13.2]	28.1 [16.2] (4.6)	6.3

(): H5-H31の平均値

[]: 前回の値

【】: サンカクフジツボによる異常貝率

3 今後の見込み

成熟は西湾、東湾ともにやや早めとなり、順調に進んでいます。産卵時期及び採苗器投入時期については、今後の情報を参考にしてください。

表2 各ブイの1週間(1/1~1/7)の日平均水温

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	11.0 ~ 11.2	東田沢ブイ	-	浜奥内ブイ	-
蓬田ブイ	10.5 ~ 10.5	清水川ブイ	9.4 ~ 9.5	川内ブイ	7.2 ~ 7.4
奥内ブイ	-	野辺地ブイ	8.0 ~ 8.1	脇野沢ブイ	-
青森ブイ	9.9 ~ 9.9	東湾ブイ	7.4 ~ 7.9		
浦田ブイ	-	横浜ブイ	7.2 ~ 7.3		

-: メンテナンス中

なお、秋季養殖ホタテガイ実態調査の異常

貝率は昭和60年~平成30年に比較すると、**全湾で最も高くなっています**。今後シケが連続するとへい死し、親貝数が減少する恐れがありますので**施設を安定させる**ことが重要です。詳しくは、**12月2日に発行したホタテガイ養殖管理情報第6号を参考**にしてください。

また、秋の稚貝分散時に小型のウミセミが多く見られた地区があります。採苗器投入が早まった場合、**目合1.5~2分の袋の採苗器には小型のウミセミが入り込むので目合1分の袋を使う**ことをお勧めします。



①



②